

**日宇エリア**

日宇地域

**概要及び特性**

日宇エリアは日宇地域を対象とし、人口が約2.7万人、面積が約16.85km<sup>2</sup>、人口密度が1,627人/km<sup>2</sup>です。人口密度は市平均（612人/km<sup>2</sup>）を大きく上回っています。

住宅地の割合が最も高い地域となっており、商業地及び工業地も多くなっています。

住宅地、商業地及び工業地は、佐世保中央地域から日宇エリア、早岐地域まで連続して、国道35号線周辺に広がっています。エリア内の大塔地区には、市域全体及び周辺市町から利用される大規模な商業施設があります。

日宇エリアは、幹線道路及び鉄道及びバスといった公共交通機関が充実しており、交通の要所となっています。また、大塔地区には物流拠点が整備されています。

中心部には地区公民館と併設した日宇支所が設置され、エリア内の行政サービスの中心となっています。

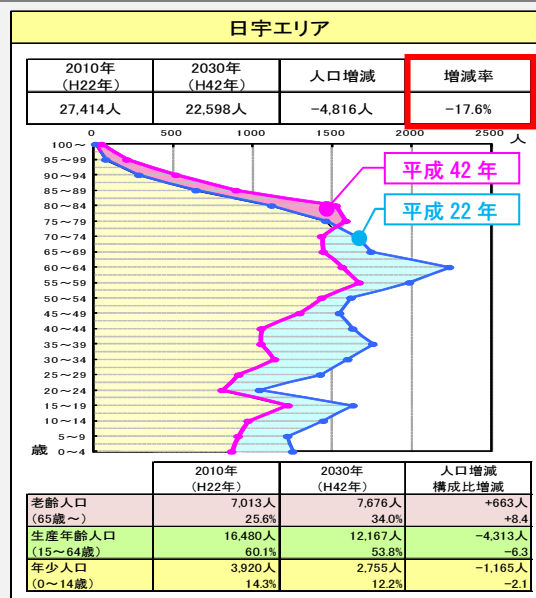
このように、佐世保中央地域に隣接し、連続的に発展している地域です。

**人口変化**

エリア全体の人口は、この10年間では、約3%減少と、微減傾向にあります。（第1章P10参照）

今後の人口推計をみると、今後20年間で約18%減少と、今まで以上に減少すると予測されます。

人口構成をみると、高齢人口が横ばい傾向、生産年齢人口及び年少人口は減少傾向となっています。年齢別でみると、74歳以下の人口が軒並み減少すると予測されます。特に30代及び40代の生産年齢人口が減少することが予測されます。



※平成22年は、年齢不詳人口を5歳階級ごとに按分しているため、総人口と年齢階層毎の合計値とは一致しません。

**公共施設の配置状況及び整備状況**

**【配置状況】**

日宇エリアは日宇支所、日宇地区公民館を行政サービスの中心とした地域で、商業・業務地が集積しているエリア中心部に設置しています。

学校施設等は、黒髪地区まで広がっている住宅地に配置しています。

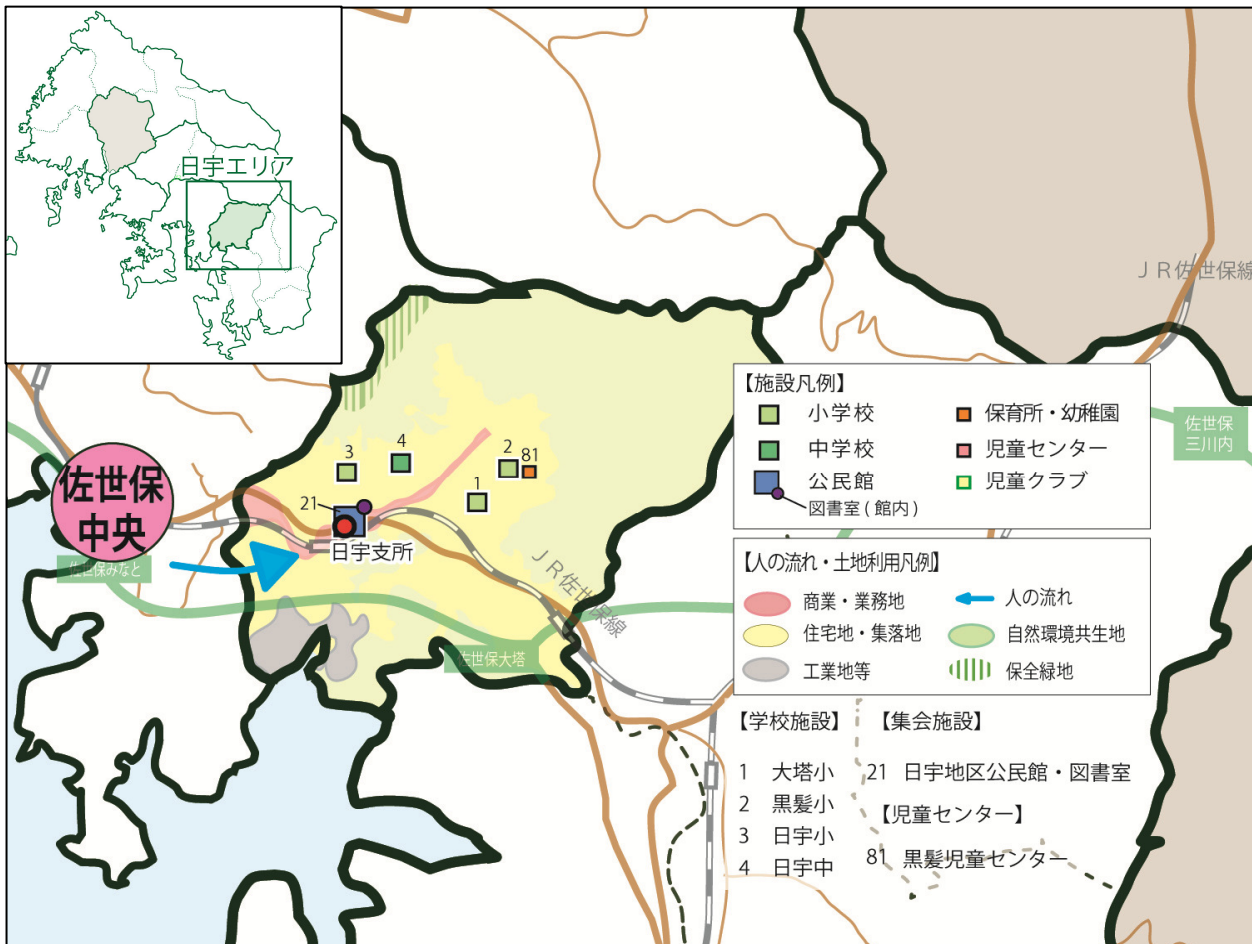
**【整備状況】**

エリア内の公共施設は延6.0万㎡と、市全体の5%です。エリア住民1人当たり2.2㎡と、全エリアで最も低くなっています。そのうち、学校教育系施設は、約52%を占めています。また、供給処理施設（東部クリーンセンター）が約28%を占めています。他のエリアと比べ、市営住宅の割合が低くなっています。築年別整備状況を見ると、旧耐震基準の建物が約44%となっており、学校教育系施設が多くを占めています。また、日宇地区公民館・日宇支所も老朽化が進んでいます。

図表 配置図（日宇エリア）

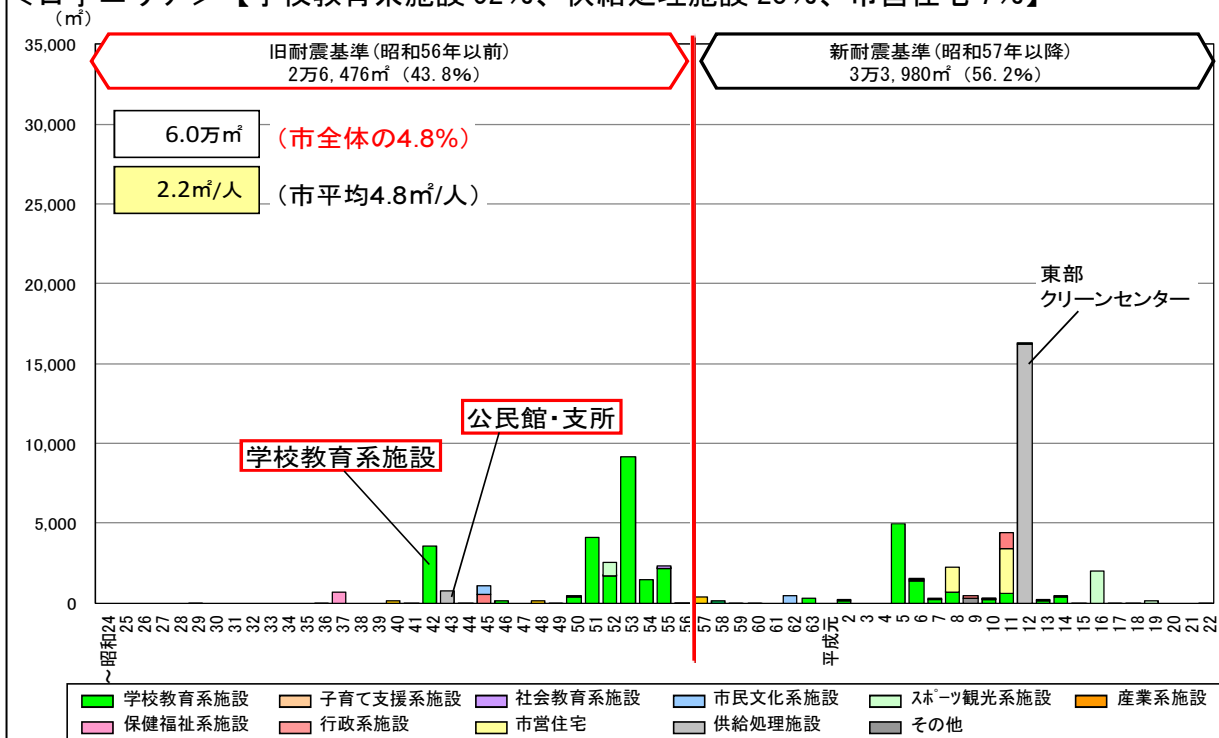
※配置図には主な施設を掲載しています。

※「人の流れ」は、都市計画マスタープランの都市軸等とは異なり、一般的な人の流れを示すものです。

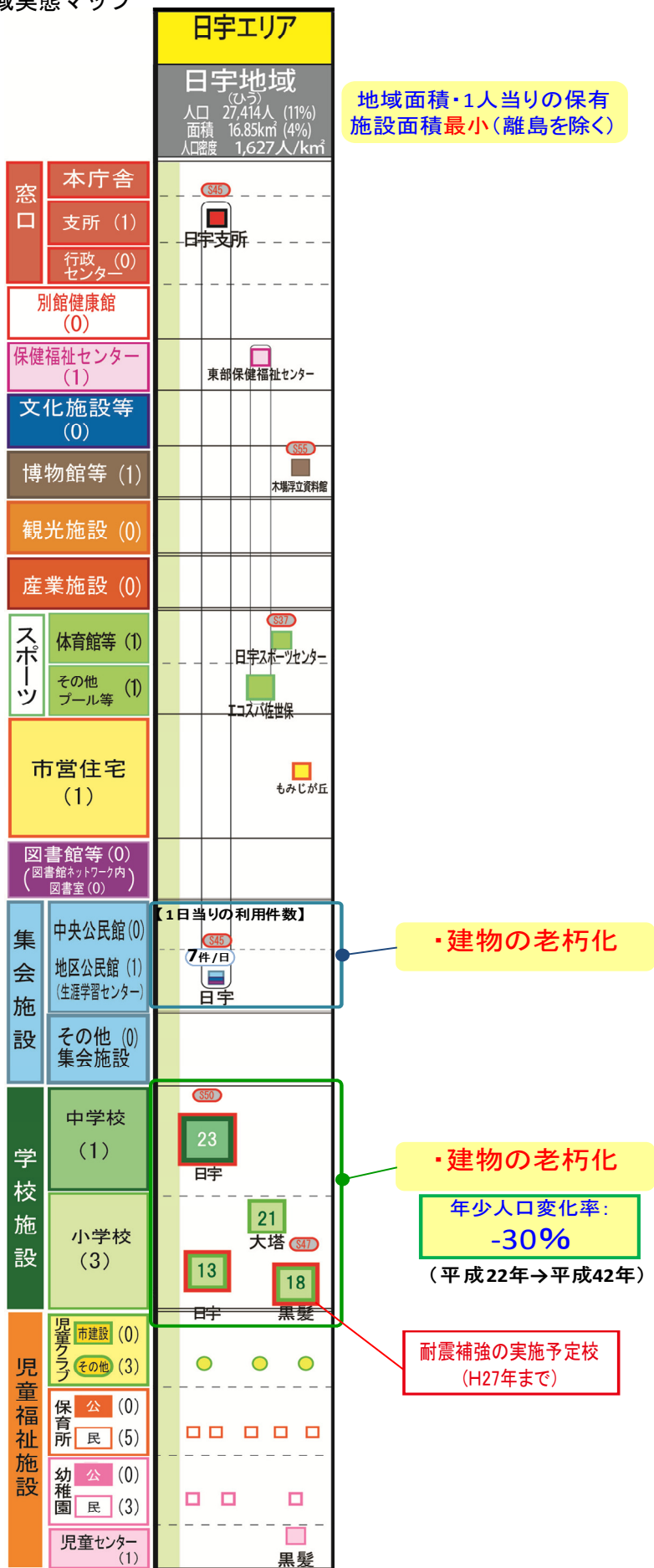


図表 築年別整備状況

<日宇エリア> 【学校教育系施設 52%、供給処理施設 28%、市営住宅 7%】



図表 地域実態マップ



## 主な公共施設の状況

### 【公民館・生涯学習センター】

公民館・生涯学習センターは、中学校区に1施設を基本に整備しており、日宇地区公民館1施設があります。日宇地区公民館は、今後、耐震化及び建替え又は大規模改修等の老朽化対策が必要となっています。

また、利用状況を見ると、市全体の平均（1日当たり6件）と比べ、若干利用状況は高くなっていますが、今後、部屋ごとの稼働状況を的確に把握し、利用ニーズが高い利用機能を把握するなど、施設ごと及びエリア全体での利用者ニーズを把握することが必要です。

### 【小学校・中学校】

本エリアは、市内で最もエリア面積が小さくなっており、学校施設は、小学校が3校、中学校が1校の計4校あります。このうち、平成27年度までに耐震化の実施を予定する学校が3校あります。

今後の年少人口変化をみると、約30%減少することが予測されており、児童生徒数が減少することが予測されます。

### 【支所】

日宇支所は、地区公民館と併設しています。

行政窓口としては、昼間、他のエリア・地域から買い物や働きに訪れる人が多く、他のエリア・地域の居住者も利用していると考えられることから、比較的利用件数が多くなっています。

## 今後の検討の視点

### 【耐震化・老朽化への対応】

本エリアでは、公民館（支所併設）及び小学校・中学校等、本エリア内の約44%の施設に対して、今後耐震化及び建替え又は大規模改修等の老朽化対策が必要となります。その際は、建物のライフサイクルを通じた効率化を検討するとともに、周辺の公共施設の老朽化状況等を踏まえた効率化を検討する必要があります。

### 【市民ニーズに応じた施設配置・整備への対応】

本エリアには、大規模な商業施設や工業地があり、昼間人口が多くなっています。また、他のエリア・地域からの流入も多くなっていることを踏まえ、今後は、周辺のエリア・地域からの流入者を含め、用途ごとのニーズを的確に把握し、利用状況を向上させると共に、そのニーズに応じた施設配置・整備を検討する必要があります。

### 【人口構成の変化等による施設の有効活用】

本エリアでは、今後20年間で人口が約18%減少すると予測されること及び、本エリアの面積が小さいことを考慮し、保有施設の効率的な施設整備や利用機能の見直しなどによる施設の有効活用を検討する必要があります。有効活用の方策としては、人口減少及び人口構成の変化により生じる可能性のある施設の余剰スペースなどの活用や、建替え等を行う際に、周辺の公共施設の老朽化状況を踏まえ、同一機能との集約化や他の機能との合同化を図るなど、多様な方策の検討が求められます。